

発達障害のある人が使っている愛用サポートツール

2015年3月

サポートツール・データベース事業の目的は、発達障害のある子どもが、将来、自分に合ったサポートツールを使用して仕事し、生活していける力をつけていくことにあります。そのためには、子ども自身が自分のことを知り、自分に合った学習方法を手に入れて、自ら学んでいく力をつけていくことが必要です。

私たち保護者は、子どもたちが発達障害という自分の特徴をうまくサポートしてくれるツールを見つけて、社会生活を送ってほしいと願っています。

そこで、社会で働いている発達障害のある青年たちに、愛用しているサポートツールについて訊ねてみました。子どものころに教えてもらった方法が気に入って同じような使い方ができる製品を選んでいる場合もあれば、働くようになって自分で使い方を工夫し場合もあるようです。

名称	製造	使っている理由
はさみ フィットカットカーブ	プラス株式会社	力を入れなくても切りやすい。手が痛くならない。持ちやすい。カラーバリエーションが多いので、自分の好きな色を選べる。
多機能フラットファイル 見分録	プラス株式会社	丈夫なので、汚くならない。開いたときに持ちやすいので、落とすことがない。ファイルしやすい。
ラインノート	プラス株式会社	縦罫線が1本入っているだけで、整理して書きやすい。
クリックブロックマウスパッド	RHODIA	マウスパッドとして使える方眼メモ用紙。PCの作業中でもメモしたことが、どこかに行ってしまうたりしない。
ジェットストリーム4色ボールペン	三菱鉛筆	書きやすい。
モノブラック ゼロ 消しゴム	トンボ鉛筆	消しゴムかすも黒いので、掃除しやすい。
ネオクリッツ デスク用ペンケース	コクヨ	机の上にペンケースを立てて開けると、そのままペンスタンドになるので、机の上が散らからない。
付箋 ココサス	株式会社ビバリー	ページだけでなく、ページの中の重要な部分もセットで貼れるので、あとで見てもわかりやすい。
ビジュアル イーズ ブラック	光の家栄光園	ノートやメモ帳の用紙が黒いので、目がチカチカしない。
アルミスケール 快段目盛	新潟精機	数字が読みやすい。中央基点目盛は、結構使うことが多い。滑り止めシートもついていた。
コマンドフック	3M	普段使うものは、忘れないように壁に掛けているが、コマンドフックははがしてもあとが残らないので、あちこちに使っている。
びん蓋開け	株式会社サンクラフト	びんのふたが開けやすい。
開けたカッター	川嶋工業	袋を開封するカッター。手で開けた反動で中身が飛び出したりしない。
ノイズキャンセラーヘッドホン		高価なので店できちんと試用させてもらえて、フィットの良いものを選んだ。
ICレコーダ		メモ代わりに録音しておく。
携帯電話の写真機能		一応、何でも撮っておくようにしている。
携帯電話アラーム機能		行動を始める時間にセットするようにしている。
ハンドレスト	エレコム	低反発素材でPC作業で疲れにくい。仕事の途中、握ったりして気分転換になる。
アクセシビリティ ガイドブック	マイクロソフト	ユーザー補助機能の説明書。自分に合ったPC環境が設定できるので、作業しやすくなった。
ウォッシュャブル キーボード	ロジクール	PCのキーボードが丸洗いできるので、気が楽になった。